

「子どもの本を読む会」を中心とした 大阪府立図書館児童サービス関連年表

子どもの本を読む会 36 年史記念誌編集委員会

編集責任 稲垣 房子

大阪府立図書館の「子どもの本を読む会」は 2004(平成 16)年 3 月に解散し 36 年間の活動の幕を閉じた。この 36 年間の活動の記録として、2006 年 3 月発行の「大阪府立図書館紀要第 35 号」に「『子どもの本を読む会』の果たした役割」(前田千慧・大西登貴子・前野貞子・脇谷邦子共著)を掲載した。この小稿では、前稿を補足するものとして児童サービスの関連年表をまとめた。併せてお読みいただきたい。

大阪府立図書館の児童サービスが本格的に動き出したのは大阪府立夕陽丘図書館で 1975(昭和 50)年に開室した児童室からといえる。大阪府立図書館本館に、第二次大戦後に設けられた家庭室(児童閲覧室)はわずか数年で閉室され、児童へのサービスは中断されてしまっていた。1960 年代後半に入り日本の公共図書館では、児童サービスの重要性が認識され始めていたが、その動きに呼応するように、府広域へのサービス展開をしていた巡回文庫(自動車文庫)においても児童書の利用が増えていった。

そうした中で 1968(昭和 43)年 2 月に「子どもの本を読む会」が発足した。児童書の合評会や紹介リスト作成等の活動が続ける中で、大阪府内の児童サービスに関わる図書館員、保育者、文庫の人たちとの繋がりも生まれた。会員を中心とする地道な活動は府立図書館における児童サービスの必要性を確認することになり、夕陽丘図書館児童室、府立中央図書館子ども資料室へと発展していく上で、それなりの役割を果たしたと考えている。今回「子どもの本を読む会」の歴史をたどるうちに、おのずと大阪府立図書館と大阪府内の児童サービスの関連年表となったのはそのためであろう。

この小稿が戦後の大阪府立図書館児童サービス史を記録する一助となれば幸いである。

なお、子どもの本を読む会 36 年史記念誌編集委員会では 2007 年 1 月に『子どもの本を読む会 36 年の記録—大阪府立図書館児童サービスの歩みとともに』を発行した。「子どもの本を読む会」の活動を物語る多くの資料を収録した。あわせてご覧いただきたい。

凡例

☆収録年は1947(昭和22)年に大阪府立図書館(現在の中之島図書館)に家庭室を開設し、天王寺別館で児童サービスを開始した時期から2006(平成18)年までとした。

☆大阪府内の児童サービスにかかわる補足資料として、「大阪府内児童サービスの高まりー図書館員・文庫関係者・保育士達の自主勉強会が発足ー児童図書館研究会会報や図書館問題研究会支部報や紹介ビラ等に見る足跡」も掲載した。

☆年表の構成と注記

★「子どもの本を読む会」について

(1) 会の発足から、解散を経て、当編集委員会を立ち上げるまでを記録した。

★「大阪府立図書館児童奉仕を中心に」について

(1) 大阪府立図書館の状況を児童サービスの変遷を中心に記録した。

(2) 大阪府図書館職員研修・大阪府図書館司書セミナーは児童奉仕に関連あるもののみを掲載した。

(3) 子どもゆめ基金事業は「わんぱく文庫」等、関連民間団体との共同事業である。

★「大阪府内の動き」について

(1) 府内の図書館網が充実していく状況を記録することを目的とした。

(2) 府内自治体の図書館建設に関しては、新館建設を中心とし、中央図書館の建て替えは記載し、分館・分室および大阪市の地域館建て替えは省略した。

(3) 府内家庭文庫・地域文庫については、「子どもの本を読む会」に直接関わりのある文庫の記述に限った。

★「関連事項」

(1) 全国の児童サービスの関連事項を記録した。

☆追記

(1) 子どもの本を読む会36年史記念誌編集委員：稲垣房子 榎倉執子 大塚直代 大西登貴子 前田千慧 前野貞子 松岡澄子 門前房子 脇谷邦子(五十音順)

(2) 「子どもの本を読む会36年の記録ー大阪府立図書館児童サービスの歩みとともに」についての

問い合わせ先 脇谷邦子方 〒591-8032 堺市北区百舌鳥梅町 1-17-10-102 Tel & Fax : 072-250-0933

子どもの本を読む会関係年表(1947年～2006年)

年	月	日	子どもの本を読む会	大阪府立図書館 児童奉仕を中心に	大阪府内の動き	関連事項
昭和22 1947	4				長野町立図書館開館	
	10			家庭室(現在の中之島図書館内)を開設、天王寺別館で児童サービス開始		
	11				布施市立図書館開館	
昭和24 1949	5	6			大阪市立図書館児童室開設(4月に図書館条例・同施行細則を制定施行)	
	9				泉大津市立図書館開館	
昭和25 1950	4	30		天王寺別館を天王寺分館と改称		図書館法 公布
	6				大阪市立育英図書館が桜宮公会堂へ移転、大阪市立図書館と改称	
昭和26 1951	10			家庭室を児童閲覧室に改変		
	12			自動車文庫開設 一従来の貸出文庫・巡回文庫を拡充		
昭和27 1952	12				大阪市立天王寺図書館(天王寺区茶白山町)開館 (桜宮は分館に)	
				茨木市・枚方市にブックステーション開設		「図書館ハンドブック」 日図協
昭和28 1953	1				大阪公共図書館協会 発足	
	3					日本児童図書出版協会 設立
	4			中学生の特別閲覧室を児童室に付加		
	5				狭山町立図書館開館	
	8					学校図書館法 公布
	10					児童図書館研究会(児図研) 発足
	12					「岩波の子どもの本」 岩波書店 刊行開始
				古市町・泉佐野市にブックステーション開設		
昭和29 1954	5			自動車文庫事務室、天王寺分館に移転		第40回全国図書館大会 (東京) 戦後初めて児童図書館問題が討議される

年	月	日	子どもの本を読む会	大阪府立図書館 児童奉仕を中心に	大阪府内の動き	関連事項
昭和30 1955	5					図書館問題研究会(図問研) 発足
	8					「日本児童文学」 日本児童文学者協会 創刊
	11					全国公共図書館研究集会 児童に対する図書館奉仕(神戸) 参加者から都道府県立図書館児童奉仕不要論発言がでる
昭和31 1956	3					「こどものとも」 福音館書店 刊行開始
	10			自動車文庫広報誌「図書あんない」創刊 ⇒昭和35.12以降「わたち」と改題		
	11					日本図書館協会(日図協) 公共図書館部に児童図書館分科会を設置
						「年鑑こどもの図書館1956年版」 児図研 ⇒1969年版から「年報こどもの図書館」 日図協
昭和32 1957	2			大阪府自動車文庫友の会 創立		
	8					家庭文庫研究会 発足 ⇒昭和40に児図研に合流
	10					「本・子ども・大人」ポール・アザール 紀伊国屋書店
昭和33 1958						「日本の児童図書館 1957—その貧しさの現状」 日図協
	10			児童閲覧室閉鎖		児童図書日本センター 発足 ⇒昭和49にJBBYに引き継ぐ
昭和34 1959	6					「こども図書館の手引き」 日図協
	11					日図協児童図書館分科会主催第1回児童に対する図書館奉仕全国研究集会(岡山)
					府内市町村立図書館数:13市町 15館	
昭和35 1960	4					「子どもと文学」石井桃子他 中央公論社
	5					鹿児島県立図書館「母と子の20分間読書運動」開始
昭和36 1961	6				大阪市立中央図書館新規設置。従来の本館を「天王寺図書館」分館を「桜宮図書館」と改称。	
	11	1			大阪市立中央図書館開館 小中学生室・児童読物相談室設置。	

年	月	日	子どもの本を読む会	大阪府立図書館 児童奉仕を中心に	大阪府内の動き	関連事項
昭和37 1962	1				大阪市立図書館、図書選定委員会組織、こどもの本の選定事業開始	
	2			主題別開架閲覧制度実施 中・高校生を対象に、学習参考室設置		
	8				池田市立図書館開館	
昭和38 1963	3					「中小都市における公共図書館の運営」 日図協
	6				茨木市立図書館開館	
	10			天王寺分館改築計画委員会 発足		
	11					「児童図書館ハンドブック」 日図協
昭和39 1964	4					「児童文学論」L.H.スミス 岩波書店
	6	2			大阪市立中央図書館小中学生室・児童読物相談室に松岡享子着任(1966年7月末まで)	
	11				貝塚市立図書館開館	
昭和40 1965	5					「子どもの図書館」石井桃子 岩波書店
	9					日野市立図書館 BMひまわり号 貸出業務開始
昭和41 1966	1					「絵本とこども」瀬田貞二 福音館書店
	5			職員研修制度始まる		
	8					多摩平児童図書館 開館(日野) 都電の廃車を利用
	10					「児童図書館への道」ハリエット・G・ロング 日図協
					「あなたの読書のために」第1集刊行	
昭和42 1967	2				吹田市立図書館開館	
	4					日本親子読書センター 設立
	6				河内長野市立図書館開館	「シリーズ図書館の仕事 児童図書館」小河内芳子編 日図協
	10					日本子どもの本研究会 発足
昭和43 1968	2	10	子どもの本を読む会 発足			

年	月	日	子どもの本を読む会	大阪府立図書館 児童奉仕を中心に	大阪府内の動き	関連事項
	5					国立国会図書館の児童図書の開館を要請する会 発足 「子どもと本の世界に生きて」E・コルウェル 福音館書店
	6				高槻市立図書館開館	
	7		「わだち」no.123に”子ども達に楽しい読書を！”掲載			
	9					科学読物を読む会(⇒科学読物研究会) 発足
	10	19	鴨の子文庫(神戸・代表大月ルリ子)見学			
	10	26	各自の役割分担と会費徴収を決定			
			合評会・児童書紹介文のストックづくり・児童文学(史)についての学習・府立の児童室の変遷調査・巡回文庫課の状況把握・府内図書館等の見学・子どもと接する機会を持つ・関連資料の収集保存 等々をおこなう。		府内市町村立図書館数:14市町18館	
昭和44 1969	4					「子どもの本の世界」B・ヒューリマン 福音館書店
	6					ねりま地域文庫読書サークル連絡会(東京) 発足
	7		「児童読みもの案内」発行			
	8					第1回全国子どもの本と児童文化講座 日本子どもの本研究会 (熱海)
	9					児童図書館員研修セミナー 第1回 開催 日図協
	9	29			府立図書館職員池長執子、府内図書館員によびかけ児童サービスについて話合う 於:箕面市立図書館	
	10	20			児童書を読む会 第1回 会合(補足資料参照) 同時期にストーリーテリングの会わらべも発足	
				茨木市・枚方市のブックステーション廃止 寝屋川市・能勢町にブックステーション開設		
昭和45 1970	1					「子どもの本棚」(月刊) 日本子どもの本研究会 創刊
	4	17	読む会 司書部長に挨拶 OLAや図研との関わりなど将来の希望を話す。			
	4					親子読書・地域文庫全国連絡会 発足

年	月	日	子どもの本を読む会	大阪府立図書館 児童奉仕を中心に	大阪府内の動き	関連事項
		4				子どもの読書の自由協議会 発足
		5	2	松原市・中川徳子さん宅訪問 家庭文庫開設の相談を受ける		
		5			寝屋川市立図書館(後の東図書館)開館	「市民の図書館」 日図協
		6				渡辺茂男著「ふたごのでんしゃ」を全国の市長に送る会 発足
		7			雨の日文庫 開設 (代表:中川徳子・松原市)	
		7		「児童読みもの案内」 発行		
		8	10		第1回「本と子ども」の研究集会 本と子どもの会(大阪)	
		8	17	第2回全国子どもの本と児童文化講座(熱海) 参加 (~19日)		
		8	24	高槻千種の子ども会で読み聞かせ		
		10	11	くすのき文庫(富田林市) 開設		
		10			「図書館をみんなのものにする会」(大阪市)発足 11月 BM増車等を大阪市議会に請願(採択)	
		12		「大阪府立図書館基本構想に関する報告書」まとまる		
		12	9	館内研修「児童図書について及び公共図書館における児童奉仕について」 講師西田博志氏ほか		
				6月に、司書部長から、会議室を使用してよい、読む会の規約をつくり館長決裁を受けておいてはどうか、という2点が、また9月には研修委員会にこみこみ話がでる⇒会の目的を再確認、自主サークルとして現状どおりでやることとする。 この年から、読み聞かせの練習に積極的に取り組む	オルコット会 発足(補足資料参照)	
昭和46 1971		4			大阪府立図書館「こどものほんだな」発行開始	社会教育審議会、「急激な社会構造の変化に対処する社会教育のあり方について」 答申
		5			豊中子ども文庫連絡会 発足	

年	月	日	子どもの本を読む会	大阪府立図書館 児童奉仕を中心に	大阪府内の動き	関連事項
	6				ももやまぶんど開設(阿倍野区昭和町の桃山学院の一室 出資は桃山学院)代表:根岸伴子 ⇒2004年3月末閉室	「国立国会図書館所蔵児童図書目録 上巻」
	7		「児童読みもの案内」発行		堺市立(現中央)図書館(新館)開館	「季刊子どもの本棚」 日本子どもの本研究会 創刊
	8					「親子読書」 親子読書・地域文庫全国連絡会 創刊
	9	7		館内研修「日本児童文学史」講師三宅興子氏		
	11	9		館内研修「英米児童文学史」講師三宅興子氏		
	11				吹田市立(現中央)図書館(新館)開館	
	12	13			「図書館をみんなのものにする会」と図問研大阪支部会員が話し合い	
				泉佐野市・羽曳野市(旧古市)のブックステーション廃止 門真市・藤井寺市にブックステーション開設	この頃から府内各地で文庫連絡会が結成される。7月に第1回家庭文庫連絡会がひらかれ、9月の2回目の会合で「大阪府家庭文庫・地域文庫を育てる会準備会」が発足。府立図書館の図書費増額等の請願運動をおこなうことを決定	
					この頃、ストーリーテリング勉強会「あまんじゃく」発足。(補足資料参照)	
昭和47 1972	1	14		館内研修「絵本について」講師中川雅裕氏		
	1			「大阪府立図書館紀要」8号(『大阪府立図書館の子ども本を読む会と児童書を読む会のこと』西沢千慧)		
	1	18			図問研大阪支部例会(吹田)で「[大阪府立図書館天王寺]分館改築問題対策委員会」発足	
	1	24			図問研大阪支部 住民交流会開催 大阪府立図書館天王寺分館改築問題にむけての請願運動開始決定 「大阪の図書館をよくする会」(よくする会)発足	
	2					「地域家庭文庫の現状と課題—文庫づくり運動調査委員会報告」 日図協
	4					日本図書館協会が4月30日を「図書館記念日」、5月中を「図書館振興の月」と決定
	4			天王寺分館改築のため阿倍野区昭和町に臨時館を設ける		「みんなに本を 図書館白書 1972」 日図協

年	月	日	子どもの本を読む会	大阪府立図書館 児童奉仕を中心に	大阪府内の動き	関連事項
	6				「よくする会」知事に要望書	
	7				枚方子どもの本をひろめる会 発足	
	7				大阪市立中央図書館、小中学生室を児童図書室に改称。大阪市立東住吉(現平野)図書館、西淀川図書館開館	
	8		リスト作成が職員研修事業として位置づけられる。		寝屋川子ども文庫連絡会 発足	
	9				松原子ども文庫連絡会 発足	
	10		「としょかんで借りて読むどうぶつの本」発行	天王寺分館改築工事 着工		
	12				図問研大阪支部 大阪府内の図書館政策作成をめざして「政策委員会準備会」発足	
	12	11			児童図書館研究会(児図研)大阪支部発会式(大阪外の会員から近畿支部結成の要望があり拡大することに決定)	
			この年、分館での児童奉仕について、会員間で、具体的な話し合いを開始		この頃より府内各図書館で自動車文庫巡回開始。	
				寝屋川市・能勢町のブックステーション廃止	近畿子どもの本連絡会(近子連) 発足 (昭和52年解散)	国際図書年 スローガン Books for All 7月東京で記念大会開催
昭和48 1973	1			天王寺分館運営計画 明らかになる	茨木市立図書館(新館)開館	
昭和48 1973	1	13	くすのき文庫 地域文庫に移管			
	1	23			児童図書館研究会(児図研)近畿支部発足	
	2		このころから分館での児童奉仕について、副館長や分館長との話し合いを何回かもつ			
	2	17	「日刊ペチカ」に「新分館で直接児童奉仕を」連載(全5回) (～22日)			
	3	2			図問研大阪支部 「政策委員会」第1回会議開かれる 委員には住民も参加	
	3	8			図書館問題研究会大阪支部が問題別集会開催 一府立図書館児童室問題について	

年	月	日	子どもの本を読む会	大阪府立図書館 児童奉仕を中心に	大阪府内の動き	関連事項
	4			南河内府民センター図書室開室(職員出向)	枚方市立枚方図書館開館	
	5			館内研修のひとつとして、児童書リスト編集委員会 ができ、リスト作成が巡回文庫課の業務となる。		
	7	7	六甲保養所で秋のリスト作成のための 合宿・会議(～8日)			
	7	12			「大阪府家庭文庫・地域文庫を育てる会準備 会」要望書提出 府教委等と交渉	
	7		くすのき文庫のお母さんとの話し合い		大阪市立城東図書館開館	公立図書館の設置及び運営上の望ましい基準 (案)発表 社会教育審議会施設分科会 公示せ ず
	8		交野市立図書館の児童書購入リスト作 りのお手伝い			
	8		秋のリスト作成について、巡回文庫課 長や分館長と話し合い(8月末～9月 初)		府教育委員会「自動車文庫設置補助金」交付 開始	
	9				「大阪府家庭文庫・地域文庫を育てる会」(育て る会)発足 要望書提出。 府立図書館副館長 や知事との話し合いを重ねる。	
	10			「こどものための100冊の本 1973」発行		
	11	16	大阪府立砂川厚生福祉センターの職 員から、団体貸出や寮生への読み聞 かせ等について相談を受ける			ふきのとう文庫第1号 北海道小樽の病院に開設 ⇒昭和57. 6に札幌市に(財)ふきのとう子ども図書 館開館
	11		南海保育専門学院(高石市)で 子ど もの本について講義(～12月)			
						「児童のための図書館奉仕」L・マッコルビン 日図 協
			松原市やくすのき文庫などのお話会に 参加。四條畷でお母さんに向けた本の 紹介をしたりもする。ストーリーテリング の練習も本格的に開始			「民話の手帖」日本民話の会、「詩とメルヘン」サンリ オ出版、「月刊絵本」盛光社、「子どもの館」福音館 書店、「月刊絵本の世界」らくだ出版デザイン、「詩 と童謡」すばる書房盛光社 創刊 児童書専門店「メルヘンハウス」(名古屋)開店
昭和49 1974	1					東京子ども図書館 財団法人に
	1	20	大阪府立砂川厚生福祉センター こん ごう寮見学			
	2	26	大阪府立砂川厚生福祉センター職員 との話し合い			

年	月	日	子どもの本を読む会	大阪府立図書館 児童奉仕を中心に	大阪府内の動き	関連事項
昭和49 1974	3				松原市自動車図書館発足	
	3	22			「育てる会」要望書提出 夕陽丘図書館に児童室を	
	4	1		夕陽丘図書館一部開館 巡回文庫課が読書振興課に課名変更。中之島との機能分担開始		
	4					品川区立図書館 さわる絵本貸出開始
	4					「図書館白書 1974 子どもは本がだいすき」日図協
	4		読む会会員の大半が夕陽丘図書館へ異動となる。 府立の児童奉仕のあり方について討議を重ねる			
	5	13	「こっぺぱん」0号 発行			
	5	27	「こっぺぱん」創刊号 発行	夕陽丘図書館開館記念式典 29日より全面開館		
	6	1	館より「こっぺぱん」創刊号についてクレームがつく	「児童書資料コーナー」を読書振興課に設置 「読書振興課に置く児童書資料」の取り扱い方針制定 「児童書資料整理方法」制定		
	6	8	館長・副館長・司書部長・司書部各課長と読む会会員 9名が「こっぺぱん」創刊号をめぐって話し合い			
	6				「育てる会」要望書提出	
	6	11		分会ニュースNo. 10 『こっぺぱん』よその子には食べさせるな！		
	6	12			黒田了一大阪府知事発言“夕陽丘に主婦や児童のための部屋を設ける”	
	6	15	「こっぺぱん」1.5号 発行			
	7	1		「児童書資料コーナー」の設置、運営方針制定		
	7	9	大阪府議会議員を訪問、議会での様子を訊く			
	8			自動車文庫5台になる		
8	15	「こっぺぱん」2号 発行				
9	7	「こっぺぱん」3号 発行				

年	月	日	子どもの本を読む会	大阪府立図書館 児童奉仕を中心に	大阪府内の動き	関連事項
	9	22	図問研全国大会 富山 第五分科会で事例発表(～24日)			
	9		「こっぺぱん」 4号 発行(9月末)			
	10			館報「ゆうひがおか」 創刊		
	10	4		夕陽丘図書館 部課長会議で、昭和50.4 から児童室設置 の予算要求をする旨決定		
	10	8		夕陽丘図書館 部課長会議で 児童奉仕構想決定		
	10	21	”イギリスの話を聞く会”(スライド付き) 講師三宅興子			
	10	28		箕面市の西河氏より児童書約6800冊(500万円相当)寄贈		「えほんのもくろく」児図研編 日図協
	10	30			「生涯教育の観点から見た社会教育施設のあり方——市町村立図書館の役割とその振興方策について(建議)」大阪府社会教育委員会議	
	10		「こっぺぱん」 5号 発行(10月末)			
	11	1			「府民のくらしに図書館を一大阪府の図書館政策を考える」 図書館問題研究会大阪支部	
	11	7	会と司書部長 話し合い			
	11	19	「こっぺぱん」 特別号 発行			
	11		南海保育専門学院(高石市)で 子どもの本について講義(～12月)	夕陽丘図書館館長、司書部長、庶務課長と職員の見意見交換会(～12月)		国際児童図書評議会日本支部(JBBY)発足←児童図書日本センターの事業をひきつぐ⇒昭和60.3に日本国際児童図書評議会となる
	12	23	「こっぺぱん」 6号 発行			
			児図研近畿支部の会員として「えほんのもくろく」の作成にかかわる	藤井寺市、門真市のブックステーション廃止	大阪市立中央図書館 「あつぷるコーナー」(⇒ヤング・コーナー) 開設 府内市町村立図書館数:19市町 28館	
昭和50 1975	3	18	「こっぺぱん」 7号 発行			
	4	16		「大阪府立夕陽丘図書館児童室用図書収集方針」 「児童室用図書整理方法」制定		
	4				大阪市立旭図書館開館	

年	月	日	子どもの本を読む会	大阪府立図書館 児童奉仕を中心に	大阪府内の動き	関連事項
	5	9		児童室設置工事着手		
	5	24			町の子文庫 開設 (昭和54. 4末まで⇒以降地域文庫に移管)	
	5				岸和田市立図書館(新館)開館	
	6			大阪府自動車文庫友の会が、大阪府読書団体友の会と改称		
	7	14	「こっぺぱん」8号 発行			
	7	15		児童室設置工事完了 「児童書資料整理方法」一部改正		
	7			部課長会議で児童室運営方針決まる		
	7	18		夕陽丘図書館 児童室開設		
	7			児童書資料コーナー 第一閲覧室に移管 利用規則に基づき、児童室の利用について(貸出冊数等)定める	豊中市立庄内図書館開館	
	9	13	「こっぺぱん」9号 発行			
	9	14	図問研全国大会(神戸)に参加(～15日)			
	10		絵本の合評会を毎週1回昼休みに始める		大阪市立阿倍野図書館開館	
	11			大阪府立夕陽丘図書館館外貸出事務取扱規程(内規)制定		
	11			読書講演会「お母さんのための子どもの本の研究」 来栖良夫氏		
					「大阪府子ども文庫連絡会準備会」発足	
					児童文化講座「本・子ども・大人」を開講(全7回 府教委後援)	伊藤忠記念財団 子ども文庫助成事業 開始
昭和51 1976	1	7		映画とブックトークの会 (第1回)		
	2				吹田子どもの本研究会(正置友子主宰)発足	
	3	15	「こっぺぱん」10号 発行			
	4	1		貸出図書延滞料徴収を廃止、貸出停止制度に変更		

＜夕陽丘図書館児童室＞
 職員:2名(専任)
 面積:90㎡ 開架冊数:4,000冊
 開室時間:13:00～17:00
 (春夏休みは10:00～17:00)

年	月	日	子どもの本を読む会	大阪府立図書館 児童奉仕を中心に	大阪府内の動き	関連事項
	6	29			大阪府子ども文庫連絡会(大子連) 発足	
	6				大阪市立図書館、学習室を縮小し、ヤング・コーナーをよみもの部に移す	
	6				大阪市立東成図書館開館、 富田林市立図書館開館	
	7	1		児童室の図書貸出冊数2冊を3冊に		
	7			児童室開室1周年記念展「世界の民話・昔話絵本」		
	8	24		紙芝居・お話会開催 (第1回)		
	9			児童書 見計らい制に移行		日図協 児童図書センター 開設
	9	30		「児童室用図書選択基準」制定		
	9			児童資料コーナーおよび児童室について話し合い(閲覧課)		
	11					「障害者」差別の出版物を許さない! まず「ビノキオ」を洗う会 全面回収をもとめるアピール発表
	12			「としょかんでかりてよむこどもの本 1976」 発行	大阪市立鶴見図書館開館	
					秋ごろ、大阪で最初の児童書専門店「木馬館」開店	
昭和52 1977	1		あかちゃんえほんリスト作成			
	1	21		読者のつどい お母さんのための読書研修会「子どものための読書の普及と振興」間崎ルリ子氏		
	2	9		読者のつどい児童図書研修会「児童文学の今日的な展望」三宅興子氏		
	4		ストーリーテリング 第一回(月1回、後に月2回)		府教委が家庭(地域)文庫、読書友の会の活動費補助事業を開始	
	4				門真市立図書館開館、松原市民図書館開館	
	5			赤ちゃんから楽しめる絵本展(5/11~30)	狭山町立図書館(新館)開館	

年	月	日	子どもの本を読む会	大阪府立図書館 児童奉仕を中心に	大阪府内の動き	関連事項
	5		絵本について研究会 講師前田章夫 絵本の歴史・形態・マンガとの違い(～9月)			
	7		「大阪新聞」 ”夏休み図書案内” 掲載(7月～8月)			
	8			復刻資料展「名著復刻日本児童文学館」(8/8～30)		「みんなの図書館」 図問研 創刊
	11				寝屋川市立中央図書館開館	
	11			クリスマスの絵本展(11/21～12/17)	大阪市立此花図書館、住之江図書館開館	
				児童資料コーナー・児童室・読書振興課の資料の 収集整理について集書業務検討会(整理課)	さわる絵本の会 つみき 発足	
昭和53 1978	1				八尾市立図書館開館	
	2			児童資料コーナー・児童室・読書振興課の資料の 収集整理について 整理課と閲覧課討議		
	3	31		南河内府民センター図書室閉鎖。図書備品は南河 内地域の各自治体に譲渡		
	4				豊中市立千里図書館、吹田市立千里図書館 開館	
	5				柏原市立図書館開館	衆・参両院議員 図書議員連盟 設立
	7			「府立図書館における将来構造と夕陽丘図書館の 事務事業」検討計画作成	大阪市立都島図書館開館	
	8			「パリで紹介された日本の絵本」展(8/14～30)		
	9				島本町立図書館開館	
	11			「大阪府立図書館将来構想(試案)」中之島図書館 将来構想委員会 まとまる 復刻資料展「復刻絵本絵ばなし集」(11/1～22)	和泉市立図書館開館	
昭和54 1979	1				大阪市立東住吉図書館開館	
	5			児童室資料展示「海外で受賞した日本の絵本」展 (5/1～30)	枚方市立香里ヶ丘図書館開館	JLA昭和54年度定期総会「図書館の自由に関する 宣言 1979年改訂案」承認
	7	11		「児童室用図書整理方法」一部変更		
	8	8	人形劇の勉強会開始(毎週水曜日昼 休み)			
	9		人形劇団 ”こっぺばん座”結成、以 降、昭和63年まで府内での活動が続く 本編参照		羽曳野市立古市図書館開館	

年	月	日	子どもの本を読む会	大阪府立図書館 児童奉仕を中心に	大阪府内の動き	関連事項
	10	27			鳥越コレクション大阪府に寄贈決定	
	10	28		一日緑陰図書館開催 於:豊能町		
	11	10	図書館問題研究会から「会」の沿革史の原稿依頼 「みんなの図書館」に掲載のため			
	12	28	来年の年計画、運営方法について話し合い			
					「児童奉仕に関する調査報告書 大阪府下公共図書館における児童奉仕の現状」大阪公共図書館協会	国際児童年
昭和55 1980	1			「なつかしの少年読物」展(1/5～30)		「読書・公共図書館に関する世論調査報告」総理府
	2					日図協 児童図書館員養成講座(第1回)開催
	3				大阪市立桜宮図書館閉館	
	4				大阪市立東淀川図書館開館	「子どもと本」 子ども文庫の会 創刊
	5		日本児童文学史の勉強会開始(～12月)		池田市立図書館(新館)開館	
	6			児童室資料展示「復刻世界の絵本館オズボーン・コレクション」展(6/2～28)		
	7	1			財団法人大阪国際児童文学館設立 事務所を夕陽丘図書館に置く 大阪府事務職員と司書を財団法人に派遣	
	7				松原市民松原図書館開館	
	8				大阪国際児童文学館育てる会発足	
	11	1		夕陽丘図書館館外貸出事務取扱規程の一部改正 研究用児童書貸出可		
			「職員時報」"シリーズ"児童文学のすすめ" 昭和57まで21回掲載		府内市町村立図書館数:28市町 53館	
昭和56 1981	1				大阪市立中央図書館児童室別室へ移転	
	3		「大阪新聞」"この本読んでごらん"掲載(3月・4月)		高石市立図書館閉館	
	4	24		「児童室用図書選択基準」一部改正		

年	月	日	子どもの本を読む会	大阪府立図書館 児童奉仕を中心に	大阪府内の動き	関連事項
	5				大阪市立生野図書館開館、松原市立天美図書館開館、四条畷市立図書館開館、視覚障害児のためのわんぱく文庫 盲人情報文化センターに開設⇒平成8年6月から府立中央図書館こども資料室に移設	
	6			児童室のリストづくりが年度計画に組み込まれ、定例化		
	7			児童室紙芝居会 開始(毎月第二水曜) 以降定例化	堺市立新金岡図書館開館	
	7	20		「なつのほんだな'81」発行 (以降1995年まで毎年発行)		
	8			和泉市立図書館主催「としよかんサマーキャラバン」にBM協力参加	藤井寺市立図書館開館	
	10			児童室「わたしのほんだなーあき」(次号より「あきのほんだな」に改題(～1993年)		
	10			児童室資料展示「子どもに空想とやさしさをおくる絵本作家」(10/1～30)		
						国際障害者年
昭和57 1982	4					さわる絵本連絡協議会 発足
	5				大阪市立港図書館開館、枚方市立楠葉図書館開館、松原市民恵我図書館開館	「図書館年鑑 1982」 刊行開始
	6			児童室資料展示「ラテン5ヶ国の絵本」(6/1～29) 児童室お話し会開始 定例化(毎月第一木曜)		(財)ふきのとう子ども図書館 開館(札幌)
	8			和泉市立図書館および茨木市立図書館主催「としよかんサマーキャラバン」にBM協力参加		
	8	18		夏休み行事開催(紙芝居・手袋人形劇等)以降「夏休みおたのしみ会」として毎年定例開催		
	9			児童室資料展示「復刻世界の絵本館ベルリン・コレクション」展(9/1～29)		
	10				大阪市立住吉図書館開館	
	10	21		読者のつどい「北欧圏の絵本の現状」木村由利子氏		
	12	8		「クリスマス会」開催。以後毎年定例開催		
				「職員時報」読書フリータイム”昭和59まで24回 掲載		
				以降も、合評会は昼休憩時に定期的 に開く(2交代制勤務のため、同一資料 について会合を2回もつなど工夫)		

年	月	日	子どもの本を読む会	大阪府立図書館 児童奉仕を中心に	大阪府内の動き	関連事項
昭和58 1983	2					おもちゃの図書館全国連絡協議会 発足
	4				富田林市立金剛図書館開館	
	6			児童室資料展示「マザーグースの世界」(6/1～29)	泉大津市立図書館(新館)開館、羽曳野市立 陵南の森図書館開館	
	7				堺市立泉ヶ丘図書館開館	
	8			児童室資料展示「アルファベットの絵本」(8/1～30)	枚方市立菅原図書館開館	
	9	27	学習会「夕陽丘図書館における児童 資料奉仕の現状とあるべき姿及び大 阪国際児童文学館の構想とあるべき 姿」(出席11名)			
	10				大阪市立淀川図書館開館	
	12			図書館連絡車 試行開始 府内15市立図書館へ協 力貸出		
			第4回児童図書館員養成講座(大阪開催)に自費参 加:稲垣房子 児童書の選書会議はじまる	この頃、金金(ごんごん)の会(大阪市立図書館 員のおはなし勉強会)発足		
昭和59 1984	3	2		読者のつどい「現代に生きる子どもとおはなし」大月 ルリ子氏		
	3			児童室資料展示「絵本の可能性」展(3/1～30)		
	4				点訳絵本の会、岩田文庫 開設 ⇒平成3年4月にふれあい文庫と改称	
	4		金子幸子氏よりOHPの寄贈を受ける		大阪市立浪速図書館開館、泉南市立図書館 開館、	
	5		東京子ども図書館の十周年記念事業 に募金 こっぺばん座について話し合い	中之島一主題別閲覧室とサービス体制の再編成 学習参考室閉室	大阪国際児童文学館開館(大阪府事務職員と 司書の派遣継続 ⇒平成4年3月まで)、松原市 民三宅図書館開館	
	7	1		「大阪府立夕陽丘図書館館外貸出事務取扱規程」 一部改正 洋絵本の館外貸出可となる		
	7			児童室資料展示「こんな家に住みたいナ 絵本にみ る住宅と都市」展(7/2～30)	摂津市民図書館開館	
	8				大阪市立大淀(現北)図書館開館	「子どもの豊かさを求めて 全国子ども文庫連絡会 等調査報告書」 日図協
昭和60 1985	2	12		「はらっぱ」大阪府立夕陽丘図書館じどうしつだより 創刊		
	3			児童室資料展示「グリムメルヘンの世界」展(3/4～ 29)	大阪市立西成図書館開館	

年	月	日	子どもの本を読む会	大阪府立図書館 児童奉仕を中心に	大阪府内の動き	関連事項
	3	29		「はらっぱNO.2」発行		
	4				大阪市立天王寺図書館 天王寺区上之宮町に移転開館	
	5				松原市民松原南図書館開館、忠岡町図書館開館、枚方市立山田図書館開館	
	7			児童室資料展示「復刻世界の絵本館オズボーン・コレクション II」展(7/1～30)		
	8					学校図書館問題研究会 発足
	11	25		「はらっぱ NO.3ー今、子どもの本を考えるー」発行		
	12				豊能町立図書館開館	
				第6回児童図書館員養成講座(東京開催)に児童室担当者自費参加:大西登貴子		
昭和61 1986	2	28		読者のつどい「幼年文学をめぐって」上田由美子氏		
	3			「図書館サービスのネットワークのあり方について第4年次(最終)報告書」大阪府教育委員会・大阪府図書館ネットワーク検討委員会		
	3	31		「はらっぱ NO.4ー幼年文学をめぐってー」発行		
	4			新府立図書館建設プロジェクトチーム 発足		
	5				大阪市立大正図書館開館、箕面市立東図書館開館、枚方市立蹉だ図書館開館	
	7			児童室資料展示「しかけ絵本」展(7/21～8/29)		
	8	26			フリッパ・ピアス講演会「なぜ子どもを書くのか」主催:大阪国際児童文学館 後援:大阪府教育委員会	
	9				イトーヨーカ堂堺店こども図書室開館	
	10		サンケイ新聞社発行月刊誌「くらしの百科」に「最近児童書がおもしろい」を掲載			東京子ども図書館 児童室を開設
	12	10		「はらっぱ NO.5ー1986年子どもの本の世界大会ー」発行		
					府内市町村立図書館数:33市町 84館	
昭和62 1987	3	30		児童書整理規定全面改定 児童書読みものNDC8版3桁分類に		

年	月	日	子どもの本を読む会	大阪府立図書館 児童奉仕を中心に	大阪府内の動き	関連事項
	3	31		「はらっぱ NO.6-今、考えよう、性の問題と生きることの意味-」発行		
	4				大東市立図書館開館、吹田市立山田図書館開館	
	5				大阪市立福島図書館開館、枚方市立御殿山図書館開館	
	8			児童室資料展示「子どもの絵本カレンダー」展(8/1～29)		
	9					「公立図書館の任務と目標」最終報告発表 日図協
	11	16		府内図書館へアンケート「児童奉仕における行事について」		
昭和63 1988	2	20		「はらっぱ NO.7-子どもと行事・おはなし会-」発行		
	2	25		読者のつどい シンポジウム「こどもの読書ばなれを考える」		
	3			児童室資料展示「子どもの世界をひろげる 布の絵本」展(3/1～30)		
	3	30		「はらっぱ N.8-子どもの読書ばなれを考える-」発行		
	3	31		児童書整理規定一部改定 カード配列		
	4			おはなし会毎週水曜日に変更	高槻市立小寺池図書館開館	
	5				枚方市立牧野図書館開館	
	6				松原市民天美西図書館開館、豊中市立野畑図書館開館	
	9			児童室資料展示「おいしいもの大好き！子どもの本いろいろ」展(9/1～29)		
	11	17		88'おおさか"図書館"フェスティバル 於:松坂屋府社会教育課、大阪21世紀協会等共催(～22日)	箕面市立中央図書館開館	
	12					岩波書店 絵本「ちびくろさんぼ」絶版
昭和64/ 平成1 1989	1	25		「はらっぱ NO.9-韓国・朝鮮の児童文学-」発行		
	2	16	学習会「新府立図書館での児童奉仕のあり方-府下公立図書館での児童奉仕部門におけるセンター的機能を果たすために」(出席8名)			

年	月	日	子どもの本を読む会	大阪府立図書館 児童奉仕を中心に	大阪府内の動き	関連事項
	3	13		読者のつどい「児童奉仕の可能性を探る」		
	3	31		「はらっぱ NO.10ー子どもと本をつなぐ試みー」発行		
	3				ヤング・アダルト・サービス研究会発足(補足資料参照)	「公立図書館の任務と目標 解説」 日図協
	4	24	昼休みに職員向けお話し会開催		貝塚市民図書館開館、堺市立鳳図書館開館	
	6					「子どもの豊かさを求めて 2 全国子ども文庫連絡会等調査報告書」 日図協
	9				大阪市立島之内図書館開館	
	11		貝塚市民図書館の依頼により読書会用「冒険リスト」を作成		阪南町立(現市立)図書館開館	
	12			児童室資料展示「外国のクリスマス絵本」展(12/13～27)		
平成2 1990	1			児童室資料展示「カルタあれこれ」展(1/5～30)		
	2	28		「はらっぱ NO.11ーアジアを知ろう児童文学2・中国ー」発行		
	3	22		読者のつどい「私の中のアジアを語る」しかたしん氏		
	3	22		「おりがみの楽しみ」展(3/1～30)		
	3	31		夕陽丘図書館自動車文庫廃止 「はらっぱNO.12ーアジアを知ろう児童文学3ー」発行		
	4			読書振興課廃止 業務は閲覧課に引き継ぐ		
	5				枚方市立津田図書館開館	
	8			児童室資料展示「アジアの絵本」展(8/1～9/28)		
	12	11		読者のつどい「府立図書館における新しい児童奉仕のあり方を探る」シンポジウム		
				第10回児童図書館員養成講座(東京開催)前期・後期 児童室担当者公費出張で受講(脇谷邦子)	府内市町村立図書館数:35市町 93館	
平成3 1991	1					学校図書館を考える会・近畿 発足
	2				「クレヨンハウス 大阪店」吹田市に開店	
	3			児童室資料展示「絵本からとびだしたキャラクターたち」展(3/1～4/6)		

年	月	日	子どもの本を読む会	大阪府立図書館 児童奉仕を中心に	大阪府内の動き	関連事項
	3	20		「はらっぱ NO.13・14合併号ー府立図書館児童奉仕を考えるー」発行		子どもの本の品切れ絶版を考える会 発足
	4	3		春休みおたのしみ会(人形劇等)以降毎年開催定例化。これにより、春夏・冬休みに子ども向けイベントの開催が定着し、現在に至る。		
	5				『ホビットの会十年誌』(会長:正置友子)発行	公立図書館の設置及び運営に関する基準(案) 発表 文部省
	5	21			新金岡子どもの本を読む会発足(補足資料参照)	
	6				箕面市立桜ヶ丘図書館開館	
					大子連 「新府立図書館建設についてのお願	
					い」府へ提出	
平成4 1992	1	31		平成3年度近畿公共図書館協議会児童奉仕部門研究集会開催(夕陽丘図書館担当)		
	3			図書館ウォッチング「新中学生図書館利用ガイドンス」		
	3	31		「はらっぱ NO.15ー子どもの権利条約と図書館ー」発行		
	4			府教育委員会社会教育課内に新府立図書館準備室設置	茨木市立中央図書館開館	
	6				東大阪市立花園図書館開館	
	7				摂津市立鳥飼図書センター開館	
	8			貸出冊数(3冊→4冊)、期間(2週間→3週間)に変更		
平成5 1993	2				箕面市立萱野南図書館開館	
	2	19		読者のつどい「科学の本っておもしろい！」西村寿雄氏講演		
	3	22		「はらっぱ N.16ー科学の本っておもしろい！ー」		
	3	31		「はらっぱ NO.17ーアジアを知ろう児童文学4ー」発行		
	3					「公立図書館におけるヤング・アダルトサービス実態調査報告」 日図協
	4				四条畷市立田原図書館開館	
	6			新府立図書館子ども資料室の設計について、打ち合わせ開始。以降開館まで打ち合わせが続く	岸和田市立山直図書館開館	
	7				吹田市立さんくす図書館開館	

年	月	日	子どもの本を読む会	大阪府立図書館 児童奉仕を中心に	大阪府内の動き	関連事項
	8				守口市生涯学習情報センター開館、羽曳野市立羽曳が丘図書館開館	
	9	17			MMの会発足(補足資料参照)	
	11				豊中市立庄内幸町図書館・豊中市立東豊中図書館開館、松原市民情報ライブラリー開館	
	12					子どもと本の議員連盟 結成
平成6 1994			東京子ども図書館の二十周年記念事業に募金			
	3			「はらっぱ N.18ー特集:レファレンスー」発行		
	4				高槻市立中央図書館開館	子どもの権利条約 日本が批准
	7				堺市立中図書館開館	
	10				岸和田市立春木図書館開館	
	11				熊取町立熊取図書館開館	
平成7 1995	1	17		阪神・淡路大震災により中之島図書館も被災		
	3	16		読者のつどい「子どもの心絵本の世界」佐々木宏子氏		
	3	31		「はらっぱ NO.19ー絵本と子どもー」発行		
	5				茨木市立水尾図書館開館	
	10			夕陽丘図書館は新府立への移転準備のため、中之島図書館はリニューアルのため休館		
	11	27			シンポジウム「府県立図書館のサービスを考えるー開館近い新・大阪府立図書館に望む」日図協、図問研大阪支部、図書館分会主催	
	11					「本はともだちー公立図書館の児童サービス実践例集」文部省
	12					「子どもの豊かさを求めて 3 全国子ども文庫調査報告」日図協
平成8 1996	3			夕陽丘図書館廃止		
	4				吹田市立江坂図書館 交野市立倉治図書館開館	
	5	10		大阪府立中央図書館開館 中之島図書館リニューアル開館		<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content;"> <p><中央図書館こども資料室> 職員:3名(専任) 1名(嘱託) 面積:627㎡(内おはなし室28.26㎡) 開架冊数:20,000冊 児童書蔵書冊数:75,000冊 開室時間:9:00~17:00</p> </div>

年	月	日	子どもの本を読む会	大阪府立図書館 児童奉仕を中心に	大阪府内の動き	関連事項
	5	22		協力車運行開始 図書館未設置地域含む府内全44市町村に		
	6				八尾市立山本図書館開館、視覚障害児のためのわんぱく文庫 府立中央図書館へ移設	
	7			こども資料室 課題図書返却期限短縮	大阪市立中央図書館(新館)開館 島本町立図書館(新館)開館	
	7			子ども用AV資料の予約受付を当分の間中止		
	8				羽曳野市立丹比図書館開館	
	9			こども資料室 おはなし会(毎月1・3土)復活		
	9			こども資料室 わんぱく文庫おはなし会(毎月2・4土)		
	10			資料展示「絵本 is ワンダーランド」展(10/27～11/29)		
	11				八尾市立志紀図書館開館	
			中央図書館開館後は実質的な活動は休止		府内市町村立図書館数:35市町 105館	
平成9 1997	1				枚方市立菅原図書館開館、東大阪市立旭町図書館開館	
	3					学校図書館を考える全国連絡会 結成
	4				「地域社会教育活動振興費補助金(文庫援助金)」廃止と「家庭教育振興費補助金」の予算化決定(大阪府)	
	5	11		「みる・きく・うたう マザーグースの世界」開催(児童文学館等と共催)、資料展示「マザーグースの世界」(5/1～30)		
	6					学校図書館法 改正 司書教諭の配置
	11	21		大阪府図書館職員研修・講演会「国立国際子ども図書館のめざすもの」 パネルディスカッション「子どもへの図書館サービス—21世紀への可能性を探る」		
	12			資料展示「わくわくサンタクロース」展(12/16～27)		
平成10 1998	2				池田市立石橋プラザ開館	
	3	31		「はらっぱ NO.20—こどもの図書館サービス—21世紀への可能性をさぐる」発行		

年	月	日	子どもの本を読む会	大阪府立図書館 児童奉仕を中心に	大阪府内の動き	関連事項
	4				茨木市立庄栄図書館開館	
	7			平成10年度文部省委嘱事業「子どもの心を育てる図書館活動推進事業」実施のための大阪府図書館活動推進実行委員会設置		
	10			こども資料室 絵本と紙芝居の会(毎日曜)		
				文部省委嘱事業「子どもの心を育てる図書館活動推進事業」 <ul style="list-style-type: none"> ・子ども科学遊び「音と振動のなぞ」(8月) ・モザイクの国カナダこどもと文化展 in Osaka (10～11月) ・0・1・2歳と楽しむ絵本の講座(10～11月) ・学校図書館セミナー「いきいきした学校は図書館から」(1999/2/16) ・多文化の国カナダを語る講演会(松居直氏・コピソン・珠子氏)(1999/2/18)、関連展示(1999/2日) ・春の親子コンサート「木管五重奏のひびき(1999/3/27) 		
平成11 1999	1				豊中市立服部図書館開館	
	7			「ブラジル絵本と原画」展(7/1～18)		
	9			こども資料室 乳幼児のためのおはなし会「おはなしゆりかご」開始(毎木曜、平成14からは毎月2回木曜)		
	11			資料展示「スペイン語ポルトガル語圏の子どもたち」展(11/2～14)		
	11			少子化対策臨時特例交付金事業「親と子のわくわく絵本講座(～1月)		
平成12 2000	2	4		大阪府図書館職員研修「公立図書館と学校図書館の連携ー羽曳野市の事例に学ぶー」		
	3			「よんで よんでー3・4・5歳と楽しむ絵本のリスト」発行		「公立図書館児童サービス実態調査報告」「子どもの読書振興に係わる図書館活動に関する調査報告書」日図協
	4				松原市民新町図書館開館、堺市立北図書館開館、美原町立図書館開館	
	5	13		講演会「子どもの本の100年の時間(とき)」(共催)三宅興子氏・向川幹雄氏、資料展示「子どもの本の100年」(共催)(5/9～21)		国立国会図書館国際子ども図書館開館(平成14.5全面開館)

年	月	日	子どもの本を読む会	大阪府立図書館 児童奉仕を中心に	大阪府内の動き	関連事項
	6				豊中市立高川図書館開館	
	7				ストーリーテリング勉強会「あまんじゃく」解散	
	10	20		大阪府図書館職員研修「子どもと本をつなぐ」三宅興子氏講演		「ひらいてごらんひみつの扉ーいま、これからの子ども図書館」日図協
	11	5		シンポジウム「絵本で赤ちゃんをそだてよう イギリスのブックスタート ブックトラスト運動に学ぶ」(共催)		
	12			資料展示「イギリスの乳幼児絵本」展(共催)(12/15～24)		
	12	17		「講演会と子どものためのワークショップ」飛鳥童氏(カナダ領事館共催)		
						子ども読書年
平成13 2001	1				箕面市立西南図書館開館、羽曳野市立中央図書館開館	
	4	22		児童文学作家による国際シンポジウム「子どもの本から世界が見える」(共催) 資料展示		
	4				茨木市立穂積図書館開館	
	6				わんぱく文庫「20周年記念コンサート」	
	7					公立図書館の設置及び運営上の望ましい基準 告示 文部科学省
	8			大阪府子ども読書活動支援事業実行委員会(こども夢基金応募のため)設立		ブックスタート支援センター 設立
	9	21		ボランティア養成連続講座「子どもと本をよむ」(共催 児童文学館)(～10/26)		
	9			こども資料室 就学前幼児のためのおはなし会「おはなしぶらんこ」開始(毎月2・4水)		
	10					
	12					子どもの読書活動の推進に関する法律 公布
				子どもゆめ基金事業 ・ようこそ絵本の世界へ「講演会と子どものためのワークショップと絵本原画展」みやざきひろかず氏(11/25) ・さわる絵本をつくりましょう(2002/2/6～3/6) ・おはなしボランティア養成講座(2002/2/15～3/15)		

年	月	日	子どもの本を読む会	大阪府立図書館 児童奉仕を中心に	大阪府内の動き	関連事項
平成14 2002	1	23		大阪府図書館司書セミナー「学校図書館と情報」		
	4	23		子どもの読書推進活動実践優秀図書館として文部科学大臣表彰	「大阪府子ども読書推進会議」(大阪府・市教育委員会、公共図書館、学校図書館関係者、民間読書活動団体関係者等)設置	
	4			資料展示「形 いろいろ絵本展」(4/20～5/12) こども資料室 親と子の広場 たんぼぼ 開始(毎月1・3金)、英語お話し会開始(毎3土)(～平成16)		
	7				河内長野市立図書館(新館)開館、羽曳野市立東部図書館開館	
	10	11		大阪府図書館司書セミナー「読書－朝の10分間読書のもたらしたもの－」		
	10			絵本原画展「田島征彦の世界」(10/27～11/20)		
				子どもゆめ基金事業 ・「大阪こどもの読書フェスティバル『本の世界へいざなうために』」人形劇上演と富安陽子氏講演会(9/1)、てづくり絵本展示(8/20～9/1) ・おはなしボランティア養成講座(9～2003/3月) ・ともに生きる ザ・ワールド・オブ・ストーリー(7・12・2月)		
平成15 2003	1		会費よりこども資料室のお話室用に冷風扇を寄贈		「大阪府子ども読書推進計画」策定	
	2	5		図書館地区別研修・演習「アニメーション」佐藤涼子氏		
	3				高石市立図書館(新館)開館 児童書専門店「木馬館」閉店(中央区上本町西5丁目3-13)	
	4				和泉シテイプラザ図書館開館 平成15年度子どもの読書活動優秀実践団体として「わんぱく文庫」が文部科学大臣表彰	
	5				豊中市立蛭池図書館開館	
	6			子ども用AV資料の予約点数 音響・映像の別なく1人2点まで		
	7				高槻市立芝生図書館開館	
	11	19		大阪府図書館司書セミナー「在住外国人の子どもたちの暮らしと図書館」小島祥美氏講演		
12	12		大阪府図書館司書セミナー「有害情報と子どもたち」中村百合子氏講演			

年	月	日	子どもの本を読む会	大阪府立図書館 児童奉仕を中心に	大阪府内の動き	関連事項
				子どもゆめ基金事業 ・「おいでよおはなしの森へ」(7・12・2月) ・おはなしボランティア養成講座入門編(10～12月)、ステップアップ編(2004/1～2月) ・ようこそ絵本の世界へ 末崎茂樹氏講演会、ワークショップ、絵本原画展(10～11月) ・大阪こども読書フォーラム「本との豊かな出会いを育むために」朗読コンサート、記念講演(たつみや章氏)、子どもの読書フォーラム、青少年読書感想画展(2004/1/17)、YAブックメニュー「おもしろい本さ・が・そ！」作成(2004/1月)		
平成16 2004	3	31	解散 会費の残金で絵本を購入、中央図書館へ寄贈			
	3			大阪府子ども読書活動推進連絡協議会 協力事業「よんで よんで」(改訂版)「だっこでよんで」(改訂版) 編集:こども資料室 発行:大阪府教育委員会		
	5				吹田市立千里山・佐井寺図書館開館	
	10	8		OLA受託研修 児童奉仕実務研修 開始(～12/2)		
	11	14		JBBY(日本国際児童図書評議会)創立30周年記念行事「子どもの本は世界をむすぶ」(共催)		
	11	24		大阪府図書館司書セミナー「事例報告とワークショップ子どもの読書活動推進計画づくり・シンポジウム地域に根ざした図書館サービスを」		
	11				高槻市立阿武山図書館開館	
	12				柏原市立国分図書館開館	
				子どもゆめ基金事業 ・子どもの読書フェスティバル「本との豊かな出会いを育むために」絵本ライブトークショー 絵本原画展等(4月) ・おいでよおはなしの森へ(6・7・12月) ・おはなしボランティア養成講座入門編・ステップアップ編 ・マスター編(9～2005/2月) ・おはなしサークル支援事業(10～11月) ・中高生おはなしボランティア養成セミナー(8～2005/1月)		
平成17 2005	4				堺市立東図書館開館、枚方市立中央図書館開館	
	4	28		筒井悦子さんの豊かな世界を楽しむ(共催)		
	7					「文字・活字文化振興法」施行
	9	16		大阪府図書館司書セミナー「調べ学習徹底研究」赤木かん子氏講演		

年	月	日	子どもの本を読む会	大阪府立図書館 児童奉仕を中心に	大阪府内の動き	関連事項
	10	25		児童奉仕実務研修「選書」(3回講座)(~12/15) 特別講座「わらべうた・あそびうた」(1/25)		
	11			ピーターパン関連資料展示		
				子どもゆめ基金事業 ・子どもの読書フェスティバル「出会い、発見、絵本の魅力！」 作って、歌って、声に出して楽しむのはらうた版画展(4月) ・「おいでよお話の森へ」(12月・2006/3月) ・おはなしボランティア養成講座入門編・ステップアップ編・マスター編(9月~2006/3月) ・中高生おはなしボランティア入門セミナー(9月~12月)		
平成18 2006	1					
	3			大阪府立図書館紀要 35号(『「子どもの本を読む会」の果たした役割』 前田千慧、大西登貴子、前野貞子、脇谷邦子)		
	4		記念誌編集委員会発足(以後月1~2回のペースで編集会議開催)		大東市立西部図書館開館	
	7			こども資料室「なつのほんだな 2006」復刊		

「子どもの本を読む会」を中心とした大阪府立図書館児童サービス関連年表 補足資料

大阪府内児童サービスの高まりー一九六九年以降

図書館員・文庫関係者・保育士達の自主勉強会が発足

児童図書館研究会会報や図書館問題研究会支部報や紹介ピラ等に見る足跡

「子どもの図書館 十六巻七号 一九六九年十月」地方だより

九月末に大阪府下の児童室関係の人達と集まりを持つ予定です。(出来れば京都の方にも連絡します。)たとえ二人でも集まれば良いと思っています。大阪府下は月曜休館の所が多いので、月曜日の昼すぎから月曜日に開館している箕面市立図書館の児童室へ集合してもらう予定です。児童室のない私たちでも、皆さんの仲間入りをして、お話をしていきたいと考えています。府下でどういう形にするか、その時に話しあう予定です。

池長 執子(大阪府立図書館)

「子どもの図書館 十六巻八号 一九六九年十一月」地方だより

大阪での集会、一応成功でした。九月二九日の箕面市立図書館には、十八名も集まったのです。京都の木下さんもいらっしやいましたし、家庭文庫を開きたいという方も一人、もちろん大阪市立の人達も…。けれど、組織云々、児図研の支部云々…。これは、大阪にあつては時期尚早の感が多分にあります。それよりは、大方の関心は勉強の場を持ちたいということに集まり、結局、ストーリーテリングの会と、児童書を読む会が誕生しました。後者は、十月二〇日に第一回の会を持つ予定になっております。当日には、清水さんや森崎さんが来られるとか聞いております。

府立の子どもの本を読む会も、活動の充実を計るべく、合評会に力を入れること、府下の児童室の現状を知ること、子どもに接する機会を持つことなどに、目を向けはじめております。また、有志三人で「児童文学論」の読み合わせをはじめました。来春ぐらいには一日文庫ぐらい開きたいとも考えております。児童室を持たない知らないものの悩み?です。

西沢 千慧(大阪府立図書館)

「子どもの図書館 十七巻七号 一九七〇年十一月」地方だより

おはなし勉強会 「わらわらのおはなし会」

大阪では、ストーリーテリングの勉強をしている集りがあるのでお知らせします。

絵本を読むこと、お話を中心にして、図書館員やお母さんたちがあつまり、ささやか

ながら勉強しているのですが、メンバーは児図研会員に限っているわけではありません。ごく
こじんまりした気楽な会ですので、興味をおもちの方、ご一緒に勉強しませんか。

毎月一回 月曜日 午後一時～五時 場所は太融寺

会費は、今までのところ会場費を全員が分担している程度です。

くわしいお問い合わせは 大阪市立中央図書館 よみもの室栗本さんまで（電 大阪〇〇
〇・〇・〇）

「こどもの図書館 十八巻七号 一九七一年十二月」

児童書を読む会が出来て二年目

大阪に児童書を読む会が出来て、この十月で満二年目を迎えました。この会の始まりは、大阪府立図書館に勤務されていた池長さん（現在大阪市立中央図書館勤務）が大阪府下の公共図書館児童室担当の人達と児童書に興味ある人が数名集まりこれから毎月定期的に例会をもたないかと誘いがあつたのが一昨年十月でした。

最初の頃、低学年向き（主に絵本）・中・高学年向き図書にわけ、なるべく新刊書の中から話題作・問題作・利用度の高い図書、科学もの、フィクションなどをいくつかのジャンルにわけて毎月行っていました。

この会には、大谷女子大学講師三宅興子さんを招いて、いろいろな問題提起してもらい、それらについて会員の人達で意見を交換して、約二時間程批評しあうわけです。

この会も一年たつと、今までの児童司書・児童書に興味のあつた人達だけでなく、家庭文庫、地域文庫のお母さんたち、又幼稚園の保母さん又大学で児童文学専攻の人達もつきつき参加していただき今までのメンバーが少しずつかわりはじめました。これにともなつてこれまで行っていた形式もかえてみてはなどという意見も出始め、始めての総会を昨年十月にもち、各自それぞれの意見を出し合つてゆくことにしました。三ヶ月間民話をとりあげたらどうかということになり、民話といつても幅が広いので、ある主題をきめていくことにしました。

そこで日本の五大昔話の中で、誰にでも親しまれている桃太郎をとりあげることになりました。まず桃太郎に関してのあらゆる資料収集をし、各公共図書館所蔵の桃太郎、三宅さん個人で収集しているもの、又会員がもっている桃太郎図書・国定教科書から書店の前に並べてある一〇〇円絵本まで、ありとあらゆる桃太郎の本を手に入れることが出来、集まった点数（絵本のみ）三二点ありました。そのうち総合的な観点から五点選び、各それぞれの批評を行うことになりました。一応五点の桃太郎はあげておきますが批評は又の機会にします。

〈桃太郎絵本〉

松居直文 赤羽末吉絵 福音館書店

大川悦生文 箕田源二郎絵 ポプラ社

那須田稔文 福田庄助絵 盛光社

松谷みよ子文 瀬川康男絵 講談社

与田準一文 三好碩絵 偕成社

桃太郎については、一応三ヶ月にしておき、木下順二の民話、SF、なども取りあげていくことにしています。

以上で簡単にまとめてしまいましたが、今まで取りあげた作品をあげておきます。

第一回（昭和四四年十月二〇日）

松谷みよ子「龍の子太郎」読み比べ

第二回 安野光雅「さかさま」

古田足日「宿題ひきうけ株式会社」

第三回 ドクター・スース「ふしぎな500のぼうし」

第四回 バーキンス「ドリトル先生とかいぞく」

吉田とし「まがった時計」

第五回 チャーリップ「よかったねネッドくん」

ノートン「魔法のベッド過去の国へ」

第六回 ラシエル「ちびくろおじさん」、チムニク「クレーン」

第七回 古田足日「ぼんこつロボット」、来栖良夫「おぼけ雲」

第八回 若山けん「きつねやまのよめいり」

大石真「教室二〇五号」

第九回 斉藤隆介「花さき山」、寺村輝夫「消えた二ページ」

第十一回 浜田広介「むくどりの夢」

松田道雄「恋愛なんかやめておけ」

第十一回 松岡洋子「テントウムシはおまわりさん」

広島テレビ編「碑—いしづみ」

第十二回 ビショップ「シナの五人きょうだい」

湯浅厚作「生きている民話」

第十三回 今江祥智「あいつとぼくら」

横谷輝「やがて大人になる君達に」

第十四回 臨時総会—参加者二一名

今後の会の運営をどのようにすすめるかと

同時に一年間の反省

第十五回〜第十八回 桃太郎学習会

第十九回〜第二十回 木下順二の民話の学習会

第二一回 「三ねんねたろう」の絵本について

第二二回〜第二三回 SFについて—

古典もののSF作品と比較的新しいSF作品の読み比べ

第二四回 こぐま社の佐藤英和氏を囲んで、絵本についての問題と、最近出た本で「ぐろう」
「きみほんとのわにかい」この2冊の絵本のできる裏話また合評会を行い、参加
人数も二五名程集まり盛会でした。

第二五回 十一月の例会は、小河内芳子氏を招いて会員との懇親会を持つ予定です。
以上がこれまでとりあげた作品ならびに今後の活動です。最後に、これからもこの会を永続
させ、一人でも多くの人達に児童書に興味をもってもらうことと同時に、我々が自信をもつ
てえらんだ図書をすべての子供にあたえることが出来るように一児童室担当者として今後課
せられた問題だと思えます。

又この会を基礎に児童図書館研究会の大阪支部を組織することを念願としています。

文責 町野 正彦（豊中市立図書館）

「こどもの図書館 二六巻七号 一九七九年十二月」

あまんじゃく

（連絡先 吹田市津雲台・・・ 大久保萬知子）

- ① おはなしの勉強会の指導者氏名 なし
- ② 勉強会を行う日時 毎月第一火曜日 六時三〇分から
- ③ 勉強会の参加者人数 約十名

他に観客として、一般の人の参加もあります。

- ④ 勉強会の内容をなるべく具体的に書いてください。
毎回十名前後、夏休みなどは三〇名を超えます。

こどもの本の専門店「木馬館」で会場を借りています。勉強会の案内をしてもらって、
観客としての参加も歓迎しています。おはなしをする人は、毎回三〜六名で約一時間あ
まり行います。その後、観客も含め講評を行います。約一時間

- ⑤ 参加者への呼びかけをしていますか。

呼びかけています。④を参照ください。

- ⑥ 今後の抱負

新しい人（図書館員）の参加を募り、養成の助けになりたい。

むらさき

（連絡先 大阪府堺市新金岡町・・・ 矢野明子）

- ① なし
- ② 毎月第四月曜日 一時四五分から（八月は休会）
- ③ 構成人員は多数になると思いますが、毎月の実演者はほぼ十名余。
- ④ 七月と十二月は、文庫もちまわりの、「おはなし会」「子ども会」的なものになり、子供を
前にしての実演の場です。それ以外の月は、各自語ったのち、フリートークキングで各々の

感想・質問・意見交換 etc 参加してはじめての六ヶ月間は、絵本をよんでもかまわないことになっていきます。人前で声を出すのに慣れれば、ストーリーテリングになります。初回参加以外はかならず実際にやらなければなりません。見学はなしです。

- ⑤ ロコミで呼びかけています。中ダルミをふせぐのが精一杯で、抱負といったものは特にありません。できれば、ずっと続けて中味の濃いものになりたい。東京子ども図書館の出張講義をうけたいなど。

「大阪支部報（図書館問題研究会 大阪支部）一七五号一九八二・十一月」

サークルめぐり オルコット会

文学愛好会としてはめずらしくないでしょうが、私達も英米児童文学を原書で読もうという会です。かれこれ十余年も前に生まれた由緒ある会で、当時は大谷短大の三宅興子先生、池長さん、谷田さん、西沢さんという美人ばかり四人で始めたと聞きます。それがオルコット会の名称のもとだったとも聞いています。そのうち多くの図書館員、教師、保母、学生（三宅さんの生徒）も入会し、短編集と絵本一冊を、毎月のテーマに読んでいっていました。特に絵本はまだ日本に紹介されていないものを取りあげて、先入観なしに意見を述べあうのである意味で自分の目を試す楽しさがありました。センダックの『まよなかのどころ』もその一つでした。人が多くなりすぎたせいでしょうか、絵本をもっとやりたい人と、一冊の本をじっくり読みたい人に分れるようになり、中心である三宅先生ご自身御多忙になり、とうとう現在の三人だけが、ほそぼそオルコット会を続けています。

何回か休憩しながら、丸三年かかって『不思議の国のアリス』『鏡の国のアリス』を終えました。語学力の乏しい我々が、のたりのたり進むのも、学校にはなかったリラックスした気分です。アリスがすんで目下休憩中ですが、この十一月から『楽しい川辺』を始めます。The Wind in the Willows ケネス・グレアム著 Methuen 社。今が入会のチャンス！ 場所は現在、豊中駅下車、メンバーの井下宅（独居）歩いて三分。連絡先は吹田市立中央図書館 児童室の沢谷まで（〇六・〇〇〇）

月一回土曜の夜、目下独身女性三人の集まりです。ヨロシク！

沢谷 とし子（吹田市立図書館）

「大阪支部報（図書館問題研究会大阪支部）一七六号 一九八二年十二月」

サークルめぐり あまのじやく

子どもの本の専門店『木馬館』で行っているおはなし（ストーリーテリング）の勉強会です。お店のお客さんに公開することを条件に、無料で場所を借わせていただいているので、参加費は不要。おはなしや絵本の読み聞かせに興味をお持ちの方、一度やってみてほしいの方向、どんな方でも大歓迎。現在のメンバーは、図書館員が中心ですが、（かならずしも児童室

担当者ではありません）なかには企業のデザイナーのお兄さんといった変わり種もいます。最近は男の人も増えつつあり、いささか女の園的な感がなくなかったこの会にも、新たな展開が見えつつあります。

月例の勉強会は、毎月第一火曜日の午後六時三〇分から八時頃まで。お店のお客さんやメンバーたち―これを楽しみに来てくれる子どもたちもいます。―の前に一人ひとり出て、絵本の読み聞かせやおはなしをした後、メンバーだけでの話し合いの時間を持ちます。

以前、小児病棟の看護婦さんが参加していたことがあり、ひよんな事から、長期療養中の子どもたちのためのお誕生会に、絵本とおはなしをひっさげて行って、とても楽しい経験をしたことがあります。それぞれの職場にとらわれないフリーな立場での勉強会であるだけに、今後はこのような活動も時間がゆるす限りやっていきたいと思っています。

会の活動そのものは十年以上続いています。会場が木馬館に移った翌年から始めた事に“新年おはなし大会”があります。木馬館の近くの喫茶店『マリオネット』を借り切つての年に一度のお祭りですが、客演やら人形劇やら、普段とはちがった趣向をこらした楽しいもので、毎年この日だけ顔をお見せになる方もいらっしやいます。来年は一月十一日（火）に行う予定。参加者は、スペースの関係で先着三〇名です。必ずあらかじめご予約ください。

参加費：五〇〇円（飲み物とお菓子代）

連絡先：大阪市立中央図書館児童室 矢野明子

木馬館 〇六 七六八 一五六三

（南区上本町五の二六 チャンピオンビル二階）―地図の記載あり―

（矢野 明子）

「こどもの図書館 三六卷十二号 一九八九年十二月」

ヤング・アダルト・サービス研究会（仮称）ができました

沢谷とし子

大阪にヤング・アダルト・サービス研究会（仮称）が誕生しました。月一回の集まりで、府下の公共図書館の人達や京都府立の高校司書の方なども参加されなかなか盛況です。発起人は、アメリカのYAの本に詳しく、また毎夏ボストンへ行って情報を仕入れてくれる井上靖代さんと、帰国時にYA本を百冊以上仕入れて来たけれど、ムチ打たれないと読みそうもないナマケモノの私とです。

今は、ヤング・コーナーを持っているという図書館の状況や、発行しているというブックリスト等の交換をしています。今後の方向はまだ模索中で、できれば形になるもの、例えば、ヤング・コーナーに置きたい基本図書リストの作成なんかできると良いなあ（夢みたいなお話だけども）とか、公共図書館のこの層への停滞しているサービスを活気つかせるための刺激剤になれば良いとか等の意見がでています。そこで全国の会員にお願いしたいのは、ヤング層へのサービスを行っている図書館の情報をお寄せ頂きたいのです。コーナーの展示の良い館とか、ブ

ックリストとか、もちろん活動についての情報とかです。こちらからの情報としてはそのうちに会のニュースとか、どの館が何を発行しているのかのリスト、その入手方法などをまとめるなどしてお送りするつもりです。申し込み者にはコピー等の実費と郵送料を請求することになると思いますが、そちらの資料を受け取った時は、お互いの帳消しになるかと思えます。

(以下、資料紹介と連絡先・略)

(さわたに としこ)

* 編集者注

その後も府内に多くの研究グループが発足したが、その内、「子どもの本を読む会」会員の関係したグループは以下のふたつである。

新金岡子どもの本を読む会 一九九一年五月二一日発足

大阪府立図書館での「子どもの本を読む会」の意義を感じた一会員が、地元堺市立新金岡図書館Ⅱ現北図書館を拠点に始めた。児童書担当職員の協力を得て、定評のある名作を読み進める。今もYさんを中心に続けられている。

MMの会 一九九三年九月十七日発足

「子どもの本を読む会」が休止状態の時、同会会員有志の呼びかけで開始。呼びかけ人の頭文字をとって「MMの会」とする。メンバーは大阪府立・大阪市立・堺市立・府立高校図書館員、主婦など。第一回は『ナルニア国ものがたり』をとりあげ、『C・S・ルイスの秘密の部屋』アン・マーノット著、『ようこそナルニア国へ』ブライアン・シスリー著を参考にした。現在も隔月に開催。